

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンス西京極堤外町 新築工事	階数	地上7F
建設地	京都市右京区西京極堤外町13番1	構造	RC造
用途地域	準工業、準防火、3種20m高度、準辺建造集積、遠景デザイン/保全	平均居住人員	98 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 0.0	評価の実施日	2019年8月22日
敷地面積	1,234.45 m ²	作成者	内山正裕
建築面積	564.36 m ²	確認日	2019年8月23日
延床面積	2,781.74 m ²	確認者	藤原武士



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み: 76% (138 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の: 73% (134 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+: 73% (134 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境: 3.0</p> <p>Q2 サービス性能: 2.8</p> <p>Q3 室外環境(敷地内): 2.1</p> <p>LR1 エネルギー: 3.3</p> <p>LR2 資源・マテリアル: 3.0</p> <p>LR3 敷地外環境: 3.1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p> <p>音環境: 3.0, 温熱環境: 2.2, 光・視環境: 2.8, 空気質環境: 3.6</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p> <p>機能性: 3.0, 耐用性: 2.9, 対応性: 2.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1</p> <p>生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3</p> <p>建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.6, 効率的: 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0</p> <p>水資源: 2.2, 非再生材料の: 3.1, 汚染物質: 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p> <p>地球温暖化: 4.0, 地域環境: 2.2, 周辺環境: 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性に優れた住環境。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し。 	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装材には全てF☆☆☆☆製品の使用。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット100mbiti以上環境有り。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備を設置。 LED照明使用。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域産木材使用。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 光害の抑制に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される